

横並び競争からの脱却と収益性を上げる

知財戦略の策定・推進のポイント

～特許情報の分析と戦略への落とし込み方、未来予測、発明強化、出願活性化の仕掛け～

- 日 時：平成28年12月19日(月) 10:00～17:00 ●聴講料：1名につき 55,000円（消費税抜、昼食・資料付）
 ●会 場：[東京・五反田] 日幸五反田ビル8F [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき50,000円（税抜）]
 技術情報協会セミナールーム [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。詳しくはお問い合わせください]

【1】市場・技術・特許情報の収集・分析と知財戦略への活用

公益社団法人高分子学会 常務理事・事務局長 平坂雅男 氏
 (元・(株) 帝人知的財産センター 取締役 知財戦略室長)

【講演趣旨】 研究開発のテーマ探索、研究開発、そして事業において特許情報の収集と分析は必須となる。市場や技術動向などの外部環境変化の激しい時代において、特許情報のみならず市場・技術情報の解析が必要となる。また、膨大な特許情報を分析するための特許解析ツールの活用や特許ポートフォリオ解析などの重要性が高まっている。本セミナーでは、知財情報や技術情報の収集および分析、テーマ探索、研究開発、事業における知財マネジメントについて取り扱う。

【講演項目】

<10:00～12:00>

1. 知財戦略の位置づけ
 - 1) 新規テーマ探索
 - 2) 研究開発
 - 3) 事業開発
2. 知財情報の収集
 - 1) 知的財産権制度の概要
 - 2) 特許情報活用のための環境整備
3. 技術情報の収集
 - 1) 技術情報のオープン性
 - 2) 技術情報収集のコツ
4. 知財戦略のための特許解析ツール
 - 1) 定量的解析手法
 - 2) テキストマイニング
 - 3) パテントマップ
5. 戦略特許データベースの構築
 - 1) 情報データから分析データベースへ
 - 2) データベース活用体制
6. キーマンの育成
 - 1) 知財キーマンの役割
 - 2) 育成のためのキープポイント

【2】未来予測をふまえた知財戦略と短期～中長期特許戦術

アイディエーション・ジャパン(株) 取締役CTO 長谷川 公彦氏

【講演項目】

<12:45～14:45>

1. 知財戦略は未来予測力で決まる

2. 中長期戦術：製品のライフサイクルに応じた特許戦術

- 1) 進化段階を割り出す方法
- 2) 進化段階に応じた特許戦略
- 3) 技術進化の一般シナリオの利用

3. 費用対効果を高める発明評価の方法

4. 短期戦術：ライバルに勝つ先回り特許戦術

- 1) 先回りの知財制御戦術とは
- 2) 知財制御戦術の2大戦法
- 3) 自社特許を強化する「発明強化」戦術
- 4) 発明強化の事例
- 5) 他社特許を弱化する「特許回避」戦術
- 6) 特許回避の事例

【3】強くても良い特許網の構築と他社を牽制する特許戦略

宇都宮大学客員教授 山村 正明 氏
 (元・花王(株) 特許部長)

【講演趣旨】 ライバル企業との競争が激しい分野においては、自分の研究開発の成果や自社の発明・考案の特許権として保護し、戦略的に活用することが不可欠です。このためには、事業戦略や研究戦略と整合した知財戦略を定め、これを実現していく「強くても良い特許網の構築」が絶対条件であります。このセミナーでは、知財部門の人、研究リーダーなどの知財の重要性を意識している人や社内の知財教育に関心のある人を主対象にしたものであり、事例や最近の判例を多数取り入れ、自身の経験も踏まえて、知財戦略、訴訟に強い特許出願について分かりやすく説明する実践的なセミナーです。

【講演項目】

<15:00～17:00>

1. 特許戦略
 - 1) 特許戦略はさまざま
 - 2) 特許戦略の基本
 - 3) 出願活性化の仕掛け
2. 戦略的クレーム
 - 1) 用途発明クレーム
 - 2) パラメータクレーム
 - 3) 機能クレーム
 - 4) プロダクト・バイ・プロセスクレーム
3. 事例から見た特許戦略
 - 1) 分割出願の活用による他社技術の囲い込み
 - 2) 粘り強い権利化対応
 - 3) 「切り餅事件」からみた知財戦略
4. 身近な製品の成功・失敗事例

「知財戦略」セミナー申込書 No.612504

12/19

【講師紹介割引 30,000円(税抜)】

会社名	事業所・事業部	講師からの紹介として、1名につき30,000円(税抜)でご受講できます。2名同時申し込み割引との併用はできませんのでご了承ください。申込書に必要事項をご記入の上FAXにてお申し込みください。お申し込み後はキャンセルできませんのでご注意ください。申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りします。
住所	〒	個人情報の利用目的 ・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため ・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため ・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします
TEL	FAX	
所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1		
受講者2		

今後、定期的な案内を希望されない場合、案内方法に×印をお願いいたします。
 (現在案内が届いている方も再度ご指示ください)

〔 郵送(宅配便)・FAX・e-mail 〕



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO., LTD.

申込専用FAX 03-5436-5080